

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

DERWENT-ACC-NO: 2003-622445

DERWENT-WEEK: 200359

COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Pot for plant, including ornamental flower, has
connection joint formed at pot, to join pots in phase
difference when pots are stacked up

PATENT-ASSIGNEE: YAMADA KAGAKU KK[YAMAN]

PRIORITY-DATA: 2002JP-0030643 (February 7, 2002)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES
MAIN-IPC			
JP 2003230319 A	August 19, 2003	N/A	004
A01G 009/02			

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
JP2003230319A	N/A	2002JP-0030643
February 7, 2002		

INT-CL (IPC): A01G009/02

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2003230319A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - A connection joint (6) is formed at the bottom (3,4) of a
pot (1) for

ornamental flower (9). When the pots vertically stacked up, the connection joint joins the pots in phase difference.

USE - For plant.

ADVANTAGE - Ensures an effective usage of an installation surface without putting in order and using a number of pots. Eliminates time and effort of sprinkling a large area. Simplifies maintenance of water sprinkling.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the perspective diagram of the top of the pot.

Pot 1

Bottom 3,4

Connection joint 6

Ornamental flower 9

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/7

TITLE-TERMS: POT PLANT ORNAMENT FLOWER CONNECT
JOINT FORMING POT JOIN POT PHASE
DIFFER POT STACK UP

DERWENT-CLASS: P13

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2003-495956

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-230319

(P2003-230319A)

(43) 公開日 平成15年8月19日 (2003.8.19)

(51) Int. Cl.

A 0 1 G 9/02

識別記号

1 0 1

1 0 3

F I

A 0 1 G 9/02

テーム (参考)

1 0 1 G 2 B 0 2 7

1 0 1 F

1 0 3 G

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号

特願2002-30643 (P2002-30643)

(22) 出願日

平成14年2月7日 (2002.2.7)

(71) 出願人 500066182

山田化学株式会社

三重県上野市大内岩根662-1

(72) 発明者 山田 俊也

三重県上野市大内岩根662-1 山田化学

株式会社内

(74) 代理人 100076406

弁理士 杉本 勝徳

Fターム (参考) 2B027 ND17 NE09 QA02 QA05 QB03

QB04 QB22 QB25 QB28 QC02

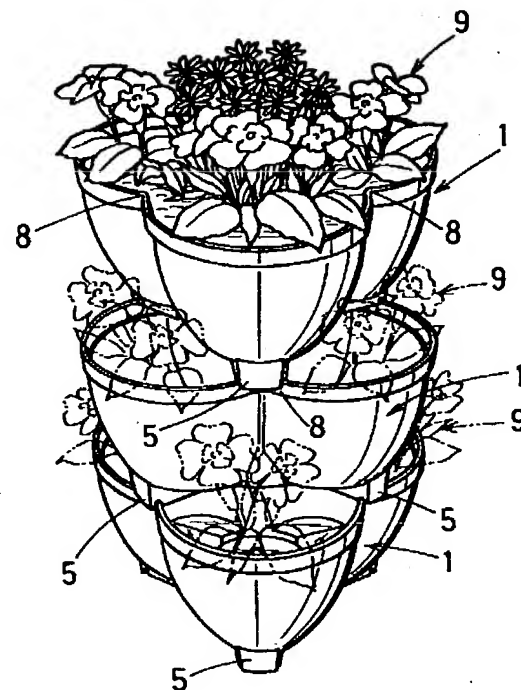
QC28

(54) 【発明の名称】 ポット

(57) 【要約】

【課題】複数の観賞用草花を少ない面積で飾れ、散水等のメンテナンスも簡単に行なうことができるポットを提供できるようにすることを目的とするものである。

【解決手段】平面視において、角形または長円若しくは楕円或いは双葉以上の多葉型に形成されたポットであって、ポットの底部分に連結嵌合部が形成されており、ポットが上下に積み重ねられた時、上部と下部とのポットの位相が異なる状態で連結可能に連結嵌合部を構成した。



【特許請求の範囲】

【請求項1】平面視において、角形または長円若しくは楕円或いは双葉以上の多葉型に形成されたポットであって、ポットの底部分に連結嵌合部が形成されており、ポットが上下に積み重ねられた時、上部と下部とのポットの位相が異なる状態で連結可能に連結嵌合部を構成したことを特徴とするポット。

【請求項2】連結嵌合部がポットの上端周縁部に嵌合する溝で形成されたことを特徴とする請求項1に記載のポット。

【請求項3】ポットが平面視で三つ葉形にしてある請求項1または請求項2に記載のポット。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は例えば観賞用の草花を植栽するポットに関するものである。

【0002】

【従来の技術】一般に、観賞用の草花を植栽するポットは、長方形の箱形や円形や多角形をした容器状に形成されており、観賞用の草花を入れたポットを庭や玄関等において使用するようにしている。

ところが、上記一般的なポットを使用して複数の草花を楽しむ場合、それぞれの花を入れたポットを庭や玄関に並べるようにしている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上述のように複数のポットを庭や玄関に並べると、その分に面積がとられてしまい、例えば玄関ではその本来の用途である履物をおく面積が少なくなってしまうという問題があった。そして、水やりをする場合、広い面積に散水しなくてはならず、手間がかかる上、散水された水がポット間の隙間や周囲に飛散しやすく、飛散した水の後片付けにも時間がかかり、面倒なものとなっていた。

本発明は上記問題点を鑑み提案されたもので、複数の観賞用草花を少ない面積で飾れ、散水等のメンテナンスも簡単に行なうことができるポットを提供できるようにすることを目的とするものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、本発明にかかるポットは、平面視において、角形または長円若しくは楕円或いは双葉以上の多葉型に形成されたポットであって、ポットの底部分に連結嵌合部が形成されており、ポットが上下に積み重ねられた時、上部と下部とのポットの位相が異なる状態で連結可能に連結嵌合部を構成したことを特徴とするものである。

【0005】また、連結嵌合部をポットの上端周縁部に嵌合する溝で形成したり、ポットの形状を平面視で三つ葉形に形成するようにしたことも特徴とするものである。

【0006】

【発明の実施の形態】以下本発明のポットにかかる一実施の形態を図面に基づいて説明する。

【0007】図1は本発明のポットを俯瞰した斜視図、図2は仰視図であって、図中符号1はポットを全体的に示す。このポット1は合成樹脂をインジェクション成型により形成されたもので、半円状の部分ポット2・2・2を円形底部3の周囲に120度間隔で配置し、隣り合う端部同士で連結された平面視において三つ葉形に形成されている。

そして、各半円状の部分ポット2・2・2の半円底部4・4・4には下方に突出された設置脚部5・5・5が形成されている。

この各設置脚部5はポット1の底部分の一部を形成するもので、その外周寄り下面部分5aには図に示すように、連結嵌合部6が形成されるとともに、円形底部3及び設置脚部5と円形底部3とに互る部分には水抜き用孔7が穿設されている。上記設置脚部5に形成される連結嵌合部6は「V」形の溝で形成されており、この連結嵌合部6の「V」形の溝は三つ葉形の上周縁の窪み部分8に嵌合するようになっている。上記のように形成されたポット1を例えば3つのポットを使用する場合の手順を次に説明する。まず、各ポット1・1・1の夫々に用土を充填し、観賞用草花9を植生する。次に、鑑賞用草花9を植生したポット1・1・1を上下に積み重ねるのであるが、この時、設置脚部5に形成された連結嵌合部6の「V」形の溝を三つ葉形の上周縁の窪み部分8に嵌合させて積み重ねてゆく。すると、図3に示すように上下に載置された各ポット1・1・1は互いに120度ずつ異なる状態で積み重ねられるので、各ポットに植生された観賞用草花9は隙間部分から外部に現れることになり豪華なものになる。

【0008】この三つのポット1・1・1を上下に積み重ねた場合、水やりするには上部のポット1に確りと注水するだけで注水された水は除々に流下し、下方のポット1を湿润する。また、上下に載置された各ポット1・1・1は着脱可能であることから、各ポット1・1・1に異なる観賞用草花9を入れることにより載置位置を考えると、雰囲気簡単に換えられるそして、ポット1・1・1の不使用时の収納や流通段階等では図4に示すように各ポット1・1・1を同位相にして重ね合わせると嵩張らず、取り扱いが至便なものとなる。尚、上記実施の形態では、ポット1・1・1を平面視で三つ葉形に形成するようにしてあるが、こうしたものに限られず、例えば図5に示すように双葉状にしたり、図6に示すように長方形に形成することもできる。この図5に示すものでは、連結嵌合部6の「V」形の溝で形成された連結嵌合部6を上記実施の形態と略同様、上周縁の窪み部分8に嵌合させて積み重ねてゆくが、ポット1を図6に示すような長方形にする場合には図7に示すように、ポット1の上周縁部分に、上方のポット1の設置脚部5が嵌合

3

する位置決め用窪み部分8を形成して連結嵌合部6を形成することが望ましい。また、図示は省略したが、ポット1・1・1の形状は上記の双葉形や三つ葉形、長方形に限られず、楕円や長円、更には三角形の他に多角形することができるのは勿論である。さらに、上記設置脚部5は省略することができる。この場合、連結嵌合部6の「V」形の溝はポット1の底部分に直接形成される。

【0009】

【発明の効果】本発明のポットは以上に説明したように、平面視において、角形または長円若しくは楕円或いは双葉以上の多葉型に形成されたポットであって、ポットの底部に形成されたに連結嵌合部で、草花を入れたポットを、位相が異なる状態で上下に積み重ね、突出する部分に夫々異なる草花を植えて飾ることができるので、ポット一つ分の面積で複数の草花を飾ることができる。これにより、複数のポットを庭や玄関に並べて使用する従来のもののように並べたポットで面積がとられることも無く、設置面の有効利用を図ることができる利点がある。さらに、本発明にかかるポットでは位相が異なる状態で上下に積み重ねて使用できるので、水やりをする場合、上部のポットから給水するだけ下部のポットにも順次給水されてゆく。これにより、従来のように広い面

4

積に互って散水する手間をなくすることができる利点もある。また、散水された水がポット間の隙間や周囲に飛散野を防止できることから、飛散した水の後片付けも最小にして、散水等のメンテナンスも簡単に行なうことができる利点がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】は本発明のポットを俯瞰した斜視図である。

【図2】は本発明のポットの仰観図である。

【図3】は本発明のポットの使用状態の斜視図である。

【図4】は本発明のポットを積み重ねた状態の斜視図である。

【図5】は本発明のポットの変形例の使用状態を示す斜視図である。

【図6】は本発明のポットのさらに別の実施の使用状態を示す斜視図である。

【図7】は図6の本発明のポットにおける連結嵌合部の斜視図である。

【符号の説明】

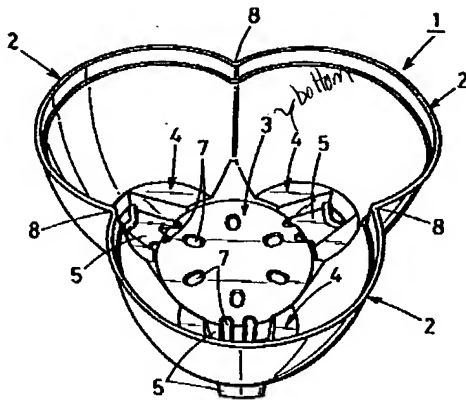
1・・・ポット

3・・・円形底部（底部分）

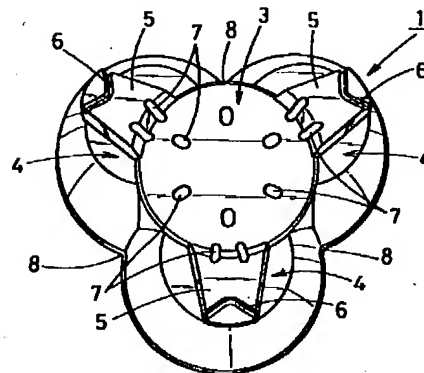
4・・・半円底部（底部分）

6・・・連結嵌合部

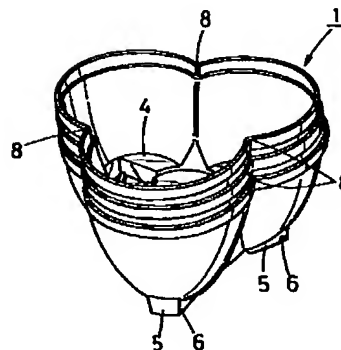
【図1】



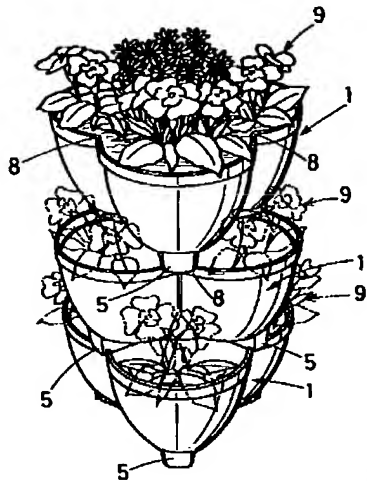
【図2】



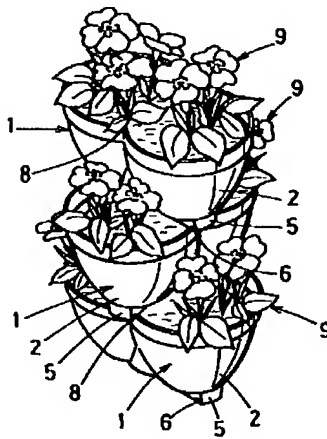
【図4】



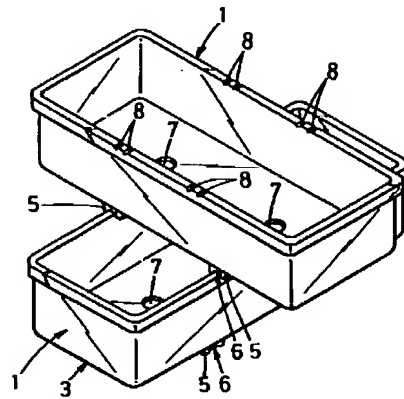
【図3】



【図5】



【図6】



【図7】

